

# 夢をつなぐ

南米ハワイのウチナー社会

<6>

「沖繩のブレゼンス(存在)の大きさを初めて知った」

第一回世界のウチナー

ンチュ会議が開かれた米ハワイ・ホノルル。大学院大学の講演で招かれた尾身幸次前沖繩担当相は「ウチナー・パワーを目的の当たりにし、特にハワイ県系人の政治的な影響力に対する驚きを隠さなかった。」

一連の行事には、ハワイ出身の上下院議員が出席したほか州知事、ホノルル市長も顔をそろえた。「全

米でも百人しかない上院議員が夜のパーティーで最後まで残っているのが本当に驚いた」と尾身氏。世界的な県系人ネットワークが持つ潜在力への認識も新たにしていた。

海外で初めて開かれたウチナーンチュ会議には、南米や東南アジアなど世界十カ国から約千人が参加した。ハワイ沖繩連合会とWUB(世界ウチナーンチュビジネス協会)ハワイが中心となり、行政に頼らないボランティア

## 交流促す経済基盤

による会議を成功に導いた。関係者からはこれだけのウチナーンチュが実際に集まっただけで成功だ」と安どの声も漏れた。

元ハワイ州知事補佐官などを務めたアルバート宮里さん(モモ)本部町出身二世は「県系人活動は最も活発で、ハワイ全島のせん望の的だ。特に今回は若い人たちが頑張った」と目を細めた。

歓迎レセプションでハワイアンミュージックを披露したキース仲兼久さん(三宅)は四世で、野村流音楽協会ハワイ支部長も務める。古典芸能歴二十五年、ハワイアンバンドを結成して十五年にな

海外で初めて開かれた第1回世界のウチナーンチュ会議の開会式＝1日、米ハワイ・ホノルル市の東西センター



## 琉僑ビジネス進展に期待

る。「両方好きだが、沖繩音楽は自然とよい気持ちになる」と話した。

沖繩県人の海外移民の先駆けとなったハワイでは、二世でさえ日本語を話せるのは少数派。移民から百三年を迎え、県系人はハワイ社会に完全に同化する一方で、伝統芸能を核に沖繩の精神文化やアイデンティティーも着実に受け継がれている。世界三十五カ国のウチナーンチュを訪ねた沖繩テレビ放送報道制作局の前原信一局長は「沖繩の伝統芸能はハワイや南米でも花開いている」と強調した。

次回会議は五年後の二〇〇八年に移民百周年を迎えるブラジルが有力。アルゼンチン沖繩県人会の玉城智会長は「それぞれの地域の実情に合わせた会議のやり方があるといい。県系人の社会地位の向上に大きく役を」と期待を込めた。

稲嶺憲一知事は、世間のウチナーンチュ会議について「成功の原動力はWUBの力が大きい。しっかりとした経済的基盤による互いの交流が図れるようになる」と非常にうまいくくと、今後世界的な県系人ネットワーク(琉僑)ビジネスへの進展に期待を寄せた。

(政経部・外間聡) (おわり)

ハワイ